

広報

あしや

1996年 (平成8年) 3月15日号

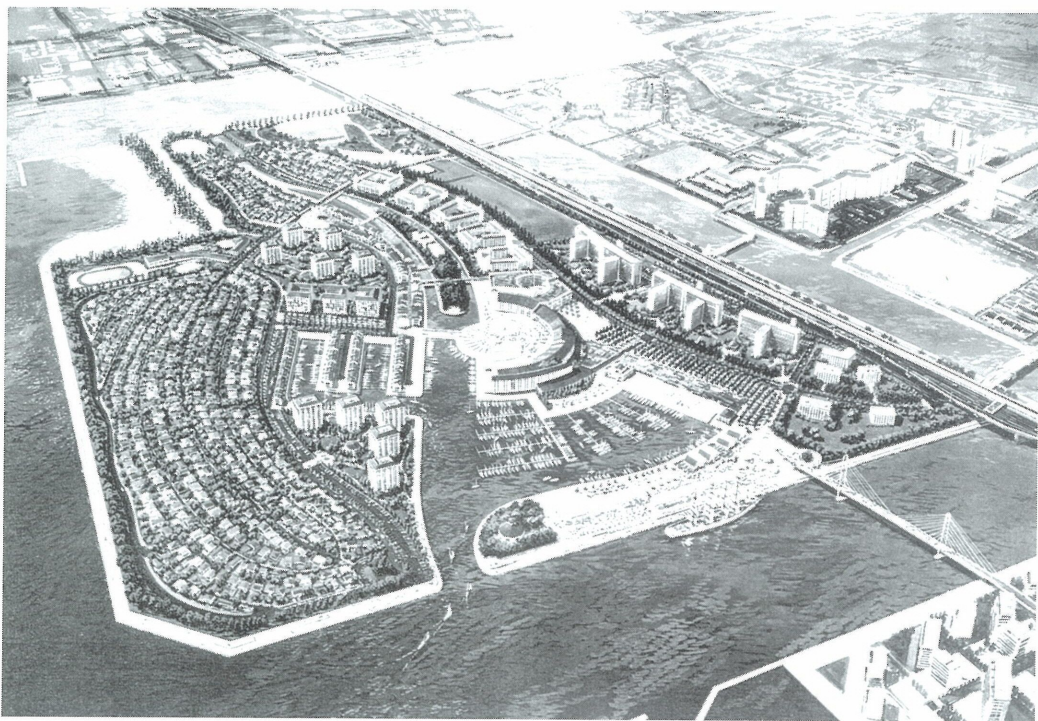
No.696

毎月1日・15日発行

発行/芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号



イメージ図

南芦屋浜地区土地利用基本計画

問い合わせ
都市計画部
南芦屋浜地区担当
☎38-2073

住宅再建(建て替え、新規購入)助成義援金の支給

住宅再建(建て替え、新規購入)助成義援金の受け付けを4月1日(月)から開始します。対象は、①被害種別は全壊(焼)または半壊(焼)②主たる生計維持者の所得が1000万円以下の世帯のかたです。

「民間賃貸住宅入居助成」、「持ち家修繕助成」義援金との重複受給はできません。

申請用紙は、市役所玄関受付、住宅課、応急仮設住宅管理班、ラポルテ・芦屋浜市民サービスコーナー、打出教育文化センターで、3月27日から配布します。

詳細は、本紙4月1日号でお知らせします。

問い合わせ 保健福祉部総務課援護係 ☎38-2041

第13回ひょうご花と緑のまちづくりコンクール受賞者決定

うるおいとやすらぎに満ちたまちづくりの促進を図るため、毎年県で実施されています。今回芦屋市からは21件の応募があり、次のとおり14件の皆さんが受賞されました。(敬称略)

- 兵庫県名誉花壇賞 朝日ヶ丘幼稚園
- 兵庫県知事賞 精道中学校
- 兵庫県議会議長賞 伊藤郁子(業平町)
- 兵庫県教育長賞 宮川幼稚園
- 読売新聞社賞 山手小学校
- (社)兵庫県森と緑の公社 精道小学校
- (財)兵庫県フラワーセンター協会賞 花と緑のまちづくり研究所賞
- (財)兵庫県フラワースタンプ協会賞 芦屋市緑化協会
- <優良> 多木万壽雄・玉江(松浜町)
- 竹内安幸(東山町)
- 岩田英子(東芦屋町)
- 岩園幼稚園、小槌幼稚園
- <佳作> 西村也寸子(潮見町)
- 震災復興特別賞 精道中学校

問い合わせ 公園緑地課 ☎38-2065

「踏み台」を希望者に給付します

仮設住宅を住みやすくするため、福島県いわき市から「踏み台」(幅36cm、奥行き24cm、高さ12cm木製)が300個寄贈されました。

希望者には、各ふれあいセンターまたは高年福祉課で3月18日(月)から配布します。(なくなり次第終了)

なお、日常生活に支障のある高齢者のかたは住宅改造についてご相談ください。

問い合わせ 高年福祉課 ☎38-2044

南芦屋浜地区土地利用基本計画策定の背景と経緯

南芦屋浜地区の土地利用計画は、昭和六十三年度に学識経験者等により組織された「芦屋沖基本計画検討委員会」に諮り「芦屋沖基本計画」として策定しました。

その後、二十一世紀の高齢社会を迎えるにあたり、平成六年度に県と市の職員による検討会を設け、高齢者等に配慮した福祉の街づくりについて検討を行いました。

また、近年の社会経済情勢の変化に伴う整備手法の検討に加え、昨年の阪神・淡路大震災を教訓として、災害に強い街づくり、復興住宅の確保を行う必要が生じました。

このような背景と経緯を経て、兵庫県企業庁において「芦屋沖基本計画検討委員会」の委員を中心に、芦屋市長をはじめ地元市民等も参画した「南芦屋浜地区土地利用基本計画懇話会」が昨年七月に設置されました。

懇話会は四回開催され、そのなかで本市も市議会特別委員会の意見を踏まえた申し入れをし、今回「南芦屋浜地区土地利用基本計画」がとりまとめられました。

土地利用基本計画

一 基本理念

- ① 国際文化住宅都市「芦屋」の新たな展開
- ② 都市生活者のためのウォーターフロントの再生
- ③ マリーナ・コンプレックスの形成

二 基本目標

- ① 芦屋らしい街づくり
- ② 親水性のある街づくり
- ③ 回遊性のある街づくり
- ④ 多様性のある街づくり
- ⑤ 景観に配慮した街づくり
- ⑥ 高齢社会に対応した街づくり
- ⑦ 災害に強い街づくり
- ⑧ ⑦は新しく加えた基本目標

全体面積百二十五ヘクタール、戸数は被災者の住宅支援としての復興住宅千戸を新たに加えた三千戸の住宅供給を計画しています。新しい街は生涯住み続けたい良質な居住環境を創出するとともに、多世代の人々がいきいきと生活できるよう街全体をバリアフリー化(障害者や高齢者の生活や活動に不便な障害を取り除くこと)します。また通過交通を分離し、歩いて楽しい街となるよう計画し、幹線道路は災害時の避難路、物資輸送確保のため広幅員で整備を図ります。魅力ある街づくりの核施設として、グレイドの高い、開かれた民間マリナを、また、センター施設用地には街全体を象徴する顔としての整備を図ります。

街づくりの概要

アメニティを高めるため、街全体の公園化を図るとともに、親水性を確保するため、街の中心部に人工水路、中の島を設けます。島に文化施設等の導入を検討し、水路の南側に水辺に面したショッピング街を設けます。

また、景観に変化をもたせるため、南側低層住宅地はゆるやかな丘陵地とし、埋立地南西部には憩いとやすらぎのため、海辺の緑地と人口海浜を設けます。

さらに防災に配慮し、総合公園を広域避難地、小学校およびセンター施設を地域防災拠点等として位置付けるほか、フリーゾーンを耐震係留護岸とするとともに、ヘリコプターの緊急発着場として活用します。街づくりについては、民間活力を導入した事業コンペを行い進められていく予定です。

今後の事業予定

本年九月末に海面埋立工事を竣工し、十月から復興住宅とインフラ整備に着工します。復興住宅の入居は平成十年三月の予定です。

事業コンペスケジュール

事業コンペについては、住宅ゾーンを中心に都市の熟成度を勘案しながら三期に分けて行う予定です。

第一期分については平成八年九月に実施の予定です。また、入居開始時期は平成十一年度を目途としています。

ごわん ない REPORT

おしらせ

家庭用品交換会
●日時…3月24日（日）10時30分～14時、物品提供者と市消費者協会会員（要会員登録）は10時から優先入場可●会場…消防本部横仮設庁舎会議室●交換品受付…3月23日（土）10時～15時のみ、会場で●品目…食料、雑貨、衣類で新品に限り。価格は市価の半額程度●精算…3月25日（月）13時30分～15時、売れた品の10%、売れ残り品1点につき10円の手数料必要●問い合わせ…消費生活センター（☎38-2034）

ねこの引き取り日の変更
毎月第3水曜日に実施していますが、3月は次のように変更します。
●日時…3月27日（水）10時～10時30分
●場所…市役所南館玄関横●費用…〈生後91日以上のねこ〉1匹につき1700円、〈生後90日以下のねこ〉10匹までごとく1700円、飼い主のない拾得ねこは無料●問い合わせ…環境部総務課（☎38-2050）

非常勤嘱託保健婦の募集
●人員…保健婦1人●年齢等…経験5年以上で30歳まで●勤務内容…仮設住宅の訪問と健康相談、週30時間勤務●時給…1540円～1650円●期間…4月から1年間●受付期間…3月22日（金）まで●問い合わせ…保健センター（☎31-1586）

祝日緑の相談所開設
3月20日（水）祝日の9時～12時、緑化協会相談所（西芦屋町4-14）で、緑の相談所を開設します。電話相談（☎34-0031）も受け付けています。問い合わせは、緑化協会（☎38-2103）へ。

震災復興事例講演会
●日時…3月25日（月）13時30分～15時30分●会場…芦屋市商工会館●講師…佐藤誠氏（NHKチーフアナウンサー）●費用…無料●申し込み…3月22日（金）までに電話で商工会（☎23-2071）へ

国民健康保険料の納付について
平成7年度8期分の納期限は4月1日（月）です。納付には便利な口座振替をご利用ください。問い合わせは、保険年金課保険係（☎38-2035）へ。

芦屋税務署からのお知らせ
平成7年分個人事業者の消費税の申告と納税は4月1日（月）までです。問い合わせは、芦屋税務署（☎31-2131）へ。



あしやNOWフレッシュレポートより
*番組内容・時間帯などは変更になる場合もありますのでご了承ください

広報チャンネルに関する問い合わせ 広報課☎38-2006 / CATV加入に関する問い合わせ CCA 0120-181-344（フリーダイヤル）

花・夢・復興 第8回芦屋さくらまつり

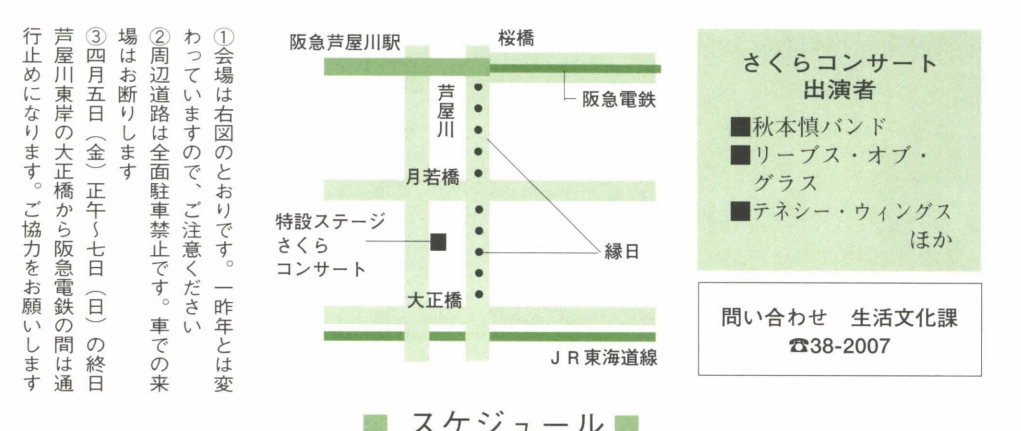
謹啓
春光うららかに花の便りが聞かれるこの頃、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。お案じ申し上げております。

芦屋川にもさくらの花が咲きほころぶ季節となりました。この満開のさくらのもと、芦屋川河畔で市内外から多くのかたのご支援をいただき、第8回芦屋さくらまつりを開催します。

今年も、全国高校総合文化祭で全国一に輝いた県立芦屋南高等学校邦楽部の箏曲の調べ、恒例のさくらコンサートなど、盛りだくさんのイベントをはじめ、商店街、福祉団体など約三十団体が、にぎやかに緑日を出店します。

美しい芦屋のまちの復興に日々力を尽くしておられる皆さま、住まいを離れ、慣れない生活を送られている皆さまも、お差し支えなければ、ぜひともお越しください。あたたかな春の一日をお楽しみください。 謹白

平成八年三月十五日
芦屋さくらまつり協議会



スケジュール

4月6日（土）	11:00～20:00	緑日
	14:00～14:30	オープニングセレモニー 県立芦屋南高校邦楽部箏曲演奏
	14:30～16:00	イベント
	16:00～20:00	さくらコンサート ブルーグラス&カントリーウエスタン
4月7日（日）	11:00～20:00	緑日
	11:00～13:00	イベント（トランポピクスほか）
	13:00～17:00	さくらコンサート ブルーグラス&カントリーウエスタン
4月6日（土）～4月7日（日）	18:00～21:00	さくらライトアップ

協賛行事

第7回細雪まつり

日時 4月6日（土）午後2時～3時30分
場所 山手幼稚園北側
内容 短歌献詠、思い出トーク、
参加費 無料
主催 細雪まつり実行委員会
問い合わせ 谷崎記念館 ☎23-5852

**芦屋川の桜を描こう
春休み絵画コンクール**

日時 4月5日（金）午前11時～午後2時
*雨天の場合 4月6日（土）
集合場所 月若公園（阪急芦屋川駅南約150m）
持ちもの 画材用品（画用紙は主催者側で用意）
参加資格 小学生（新入生含む）
作品提出 当日当場所午後2時30分まで受け付け
その他 参加費無料。参加者全員に粗品進呈
主催 モンテメール名店街、サンケイリビング新聞社
問い合わせ モンテメール管理事務所 ☎31-0203
芦屋ステーションビル側 ☎32-8011



若宮地区震災復興住環境整備事業

若宮地区約2.4ha（1・2・6・7・8・9街区）の住環境整備事業については、住民の皆さまで設立された「まちづくり協議会」と、安全で快適な暮らしやすいまちへの早期の復興を目指して話し合いを進めています。

現在市では、「まちづくり協議会」で方向付けられた、まちづくりの進め方と条件を尊重し、平成7年度中に一部事業化の手続きを進めています。今後は「まちづくり協議会」と「まちづくりの専門家」、「市」が一体となって、地区全体の個別聞き取り調査結果に基づいたまちづくり案を早期にまとめ、「市」に提案されることになっています。

「まちづくり協議会」から提案された計画案を基に事業計画を作成し、理解を得られたところから、平成8年度に住環境整備事業を実施していきます。

問い合わせ 開発事業課若宮地区担当 ☎38-2075

J R 芦屋駅南地区復興事業

J R 芦屋駅南地区については駅前広場の整備と都市計画道路駅前線の拡幅整備が急務となっています。

そして、この地区は昨年の大震災で大きな被害を受けたため、平成7年2月、芦屋市震災復興事業基本方針において、業平町1～5街区（約3.4ha）を再開発事業により一体的に復興整備することとし、昨年4月以後約2ヵ月間にわたって地元住民の皆さまと個別に話し合い（ヒヤリング）を行ってきました。

その後、6月と9月に地元住民のかたがたから計3件の申請が市議会に提出され、7月に「J R 芦屋駅南地区再開発の見直しを求める請願書」が採択されました。また9月には別の「J R 芦屋駅南地区再開発の見直しを求める請願書」と「J R 芦屋駅南地区まちづくり復興事業の早期実現を求める請願書」がいずれも採択されました。

市ではこの状況を受けて検討すると共に、昨年の個別ヒアリング時から地元住民の皆さまの生活プランや生活状況も変化していると思われるので、本年2月以後、再度個別の話し合いを実施しています。

今後はこれをもとに、事業対象区域の見直しも含めて検討し、駅前広場の整備と駅前線の拡幅整備を中心とした、一体的なまちづくりの素案を策定します。現況のまちの特性と将来を見据えたまちづくりを目指して、地域の皆さまと協議しながら事業化に取り組んでいきます。

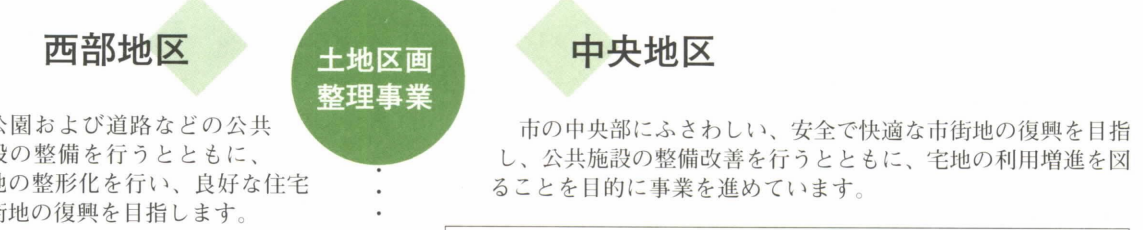
問い合わせ 開発事業課JR南地区担当 ☎32-2625

安心して暮らせるまちづくりを —震災復興事業の現在の状況—

市では、阪神・淡路大震災で特に被害が集中した地区に対し、土地区画整理事業、住環境整備事業などの諸事業によって、皆さまが安心して快適に暮らせる市街地の再生に取り組んでいます。

これらの事業を進めていくためには、地元住民のかたがたをはじめ、市民の皆さまと市が意見を出し合い、力を合わせていくことが、何より大切であると考えていますので、ご協力をお願いします。

本号では、これらの各事業の現在の状況についてお知らせします。



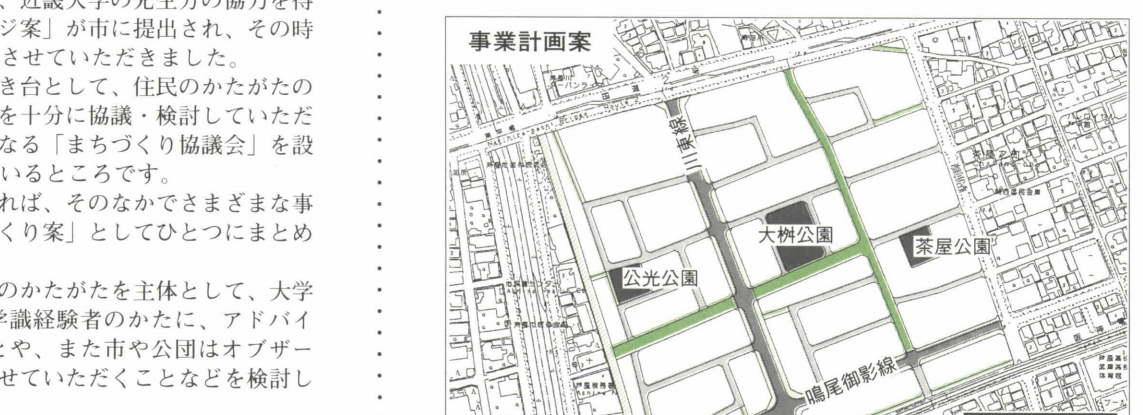
西部地区	公園および道路などの公共施設の整備を行うとともに、土地の整形化を行い、良好な住宅市街地の復興を目指します。
土地区画整理事業	
中央地区	市の中央部にふさわしい、安全で快適な市街地の復興を目指し、公共施設の整備改善を行うとともに、宅地の利用増進を図ることを目的に事業を進めています。

■現在の状況
平成7年7月にイメージ図をお示しした後、地区の皆さまのご意見をいろいろなかで伺った上で、修正した事業計画案（下記）を、7年12月の第4回説明会で提示しました。

その後は、都市計画変更案や事業計画の縦覧などを行い、現在、事業認可を得るための手続きを進めているところです。

事業認可を得た後は土地区画整理審議会を設置し、仮換地指定を9月ごろの目標として事業を実施していく予定です。

なお、商店会と協力して進めている商業展開方法の研究をはじめ、関係権利者の再建意向の把握に努め、今後の土地利用計画の検討に向けての作業を進めていく予定です。



■今後の進め方
「まちづくり協議会」において「まちづくり案」がひとつにまとまれば、これを受けて、市で「まちづくり計画」としてまとめ、事業化を図っていきます。夏ごろをめどに事業の決定が行えればと考えており、その後に仮換地指定の作業を予定しています。

しかし、仮換地が指定されても供給施設や道路などの施設整備が必要などころでは、その整備ができるまで建築にかかれず、というようなケースも生じますので、現在事業用の仮設住宅の建設を検討しています。

この復興事業については、約3年でまちの整備のめどをつけ、約5年で完成させたいと考えています。

広報チャンネル番組ガイド 9CH

放送開始	3/15 (10:00～) ～3/31
6:00 9:00 12:00 15:00 18:00 21:00	あしやNOW 3月後半（*）
6:30 9:30 12:30 15:30 18:30 21:30	市民リポーター企画番組（*）
6:50 9:50 12:50 15:50 18:50 21:50	文字放送 大型ゴミ収集日、救急当番医
7:00 10:00 13:00 16:00 19:00 22:00	ひょうごチャンネル（月曜ごとに内容更新）
7:30 10:30 13:30 16:30 19:30 22:30	ニッポンみたま
8:00 11:00 14:00 17:00 20:00 23:00	「みんなであうお」（芦屋浸教会付属幼稚園）
8:07 11:07 14:07 17:07 20:07 23:07	「広報カメラ撮りつきり」・再放送の時間 ほか

平成8年山林火災防ぎょ訓練と警戒

火災発生が多発期を迎え、署員が入山して登山者や林内作業者等へ防火意識の啓蒙を図り、あわせて山林火災の予防警戒等を実施します。

<訓練>
日時 3月19日（火）午前10時～正午
場所 奥山ゴルフ橋付近から荒地山山頂までの登山道一帯で実施

<警戒>
日時 3月20日（祝）～4月21日（日）の日曜日・祝日
午前9時～午後1時
区域 芦屋市青山一帯および奥地周辺
問い合わせ 消防本部警防防災課警防係 ☎32-2345

市民交通災害共済受付中

万一に備えて家族そろって加入しましょう
—1日1円で15,000円（7日以上の傷害）～100万円（死亡）の見舞金—

会費 1人360円（年間）
有効期間 平成8年4月1日～平成9年3月31日
受け付け 各家庭に配布した申込書に、会費を添えて銀行、信用金庫、郵便局へ。
申込書は各金融機関にもあります。
*本市に住民登録、外国人登録をしているかたならどなたでも加入できます。

問い合わせ 建設部交通安全課 ☎38-2063

こちら消費生活センターです

経済課内 ☎38-2034

継続的サービス取引
何かを始めてみたい！
そんな季節です。

例えば、エステティックサロンや英会話教室、学習塾など、ようなサービス受講が長期間、多回分をまとめて契約し、代金は一括前払いする取引の場合、は次のようなことをきっちり確かめましょう。

■転居・転勤・病気などでサービスが受けられなくなった場合やサービス内容が説明と食い違ったり自分に合わない場合、その他都合でやめたいとき、解約は出来るのか、また、違約金にはどうするか。

■支払い方法は店員が既にサービスを受けている人に話を聞き、契約書にはくまなく目を通し、出来るだけ長期・多回数の契約を結ぶことを避けることがトラブル防止につながります。

E・D・U・C・A・T・I・O・N
教の育
ページ
このページの問い合わせは
社会教育文化課(☎38-2091)へ

「子育てグループ」新会員募集

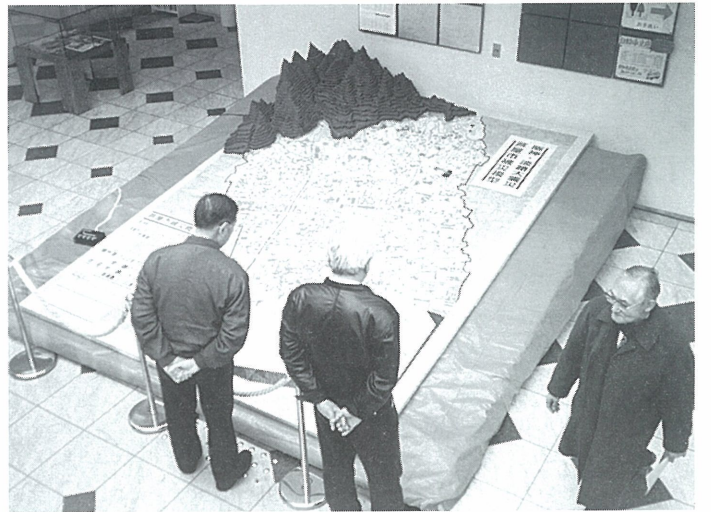
地域で親子・仲間が楽しく手作りの子育てをしています。
 <お母さんのやさしい声で絵本の読み聞かせ>
 子どもがお話を好きになれば、豊かな世界が広がります。
 <お母さんと一緒に楽しむ工作づくり>
 楽しい作品を作れば、考える力がつきます。
 <お母さんのやさしさのなかでの仲間づくり>
 年齢の違う友達と遊べば、自然に社会性が身に付きます。
■対象 0～4歳までの子どもと保護者
■費用 無料

曜日	時間	グループ名	活動場所
火	10:00～11:30	浜風クレヨン	浜風幼稚園
		ひよこっこ	朝日ヶ丘幼稚園
		パンダ	小槌幼稚園
水	11:00～12:00	潮見クレヨン	潮見集会所
木	10:00～11:30	さるっこ	第1・3打出集会所
		ムーミン	第2・4・5宮川幼稚園
		ペンギン	精道幼稚園
		りんご	西山幼稚園
金	10:00～11:30	りんご	第1・3・5竹園集会所 第2・4伊勢幼稚園

問い合わせ 子育てセンター ☎31-8006

被災地間に
真心のつながり

～八戸市との1周年交流会が実現～



■「忘れない」

心待ちにしていたものが遂に届けられたという喜びでした。さりげなく温もりが伝えられたという驚きでした。

数多い避難所の中でも、図書館に入居していた人たちは、一月二十九日（日）、はじめてあたたかい食べ物に出会ったのでした。青森県八戸市民ボランティア会の特製「せんべ

い汁」でした。

■被災地がたちあがる

市民自治創造グループ「八戸コミュニティボード」では、阪神大震災の報が伝わるや、熱気が渦巻き始めました。

「傷の浅いものが深手を負った人を助けるのは当然だ」の一言が決め手でした。

地震発生三日後には決断、すぐさま広く市民に呼びかけ、十日後には第一陣が出発。一昼夜をかけて走り抜き、芦屋に駆けつけてくれたのでした。

阪神大震災のわずか三週間前、年もおしせまった十二月二十八日、あの

「三陸はるか沖地震」で、多大の損壊を被ったあとだというのに…。

■自分のコミュニティ

第四陣まで都合四十人、それをうしろで支える数百人の大規模なボランティア・プロジェクトを決断した人、企画した人、参画した人。

行政の支援をたのむことなく、全く自ら準備し、困っている人のところへ赴く。そして回を追うごとに、被災地の人の心に添うように重ねられた工夫。避難所となった図書館を拠点に展開された、救援活動に感動を覚えない人はありませんでした。

一日の作業を終えたとき、炊き出しに参集した芦屋市民への「ありがとうございます」との代表者の挨拶に、胸を打たれる思いでした。

■再会の日

双方の震災後、やがて一年がたとうとしていました。忘れぬ人々との再会の気運が高まりました。期日も芦屋の一周年に合わせて、工藤・八戸コミュニティボード会長はじめ八人の代表団が来訪されました。

八戸市長からのメッセージを携えて北村市長を訪問。芦屋市内の復興過程を見学した後、折から図書館で開催中の「阪神大震災資料展示会」を視察。

三浦教育長も出席し、なつかしい人々との再会となった交流会では往時の惨状と復興状況が話題となり、災害の対策や救援が語り合われました。当時の避難所入居者の家を訪ねて歓談する機会があったのも、うれしいことでした。

■これから…

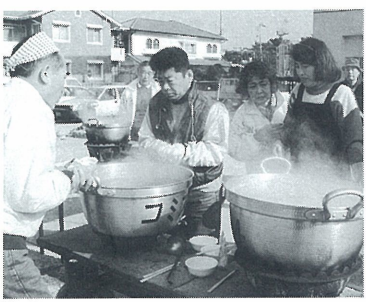
さわやかな感動を残した人々たちとの交流が、今後も続けられるとの手応えを感じとったこのたびの交流事業でした。騒然とする市役所南庁舎に、避難所のある小学校に、心なごませるボランティアの花を送り届けてくれた人々たち、と言えは思い出していただけでしょうか。

震災一周年記念事業
クリーン&ウォークあしや

一月二十八日（日）震災一周年をきっかけに、われわれの「美しいまちあしや」を再び取り戻そうと、芦屋市コミュニティ・スクール連絡協議会の主催による、全市挙げてのクリーン作戦が「クリーン&ウォーク

あしや」と銘打って、繰り広げられました。ゴール会場（市立体育館跡地）では、もちつきや協賛団体などからの賞品をめぐって

の大抽選会などのイベントが行われました。午前十時、市内九つの小学校をはじめ、それぞれの拠点に集合。各校区を中心に、市内ほぼ全域の空き缶や紙くずなどのごみを収集し、メイン会場に持ち寄りしました。このクリーン作戦で集まっ



子育てセンター潮見なかよし広場オープン

二月二十日（火）午後一時から潮見幼稚園において火曜なかよし広場が開設され、寒いなか多くの子どもと保護者のかたが参加しました。なかよし広場のオープンを記念して三浦教育長が講演をしました。

その主な内容は、子育てにおける重要なこととして「一つ、子どもの甘えを許さない。二つ、困難に耐えられる子どもに育てる。三つ、嘘を言わない子どもに育てる。四つ、情

なかよし広場の開催日程

- 時間と開設場所
- 時間 午後1時～3時
- 毎火曜日 潮見ひろば（潮見幼稚園）
- 毎木曜日 小槌・浜風ひろば（小槌・浜風幼稚園）
- 毎土曜日 精道・岩園ひろば（精道・岩園幼稚園）
- ただし、祝日および年末年始を除く
- 対象 0～6歳児の子どもと保護者
- 費用 無料

問い合わせ
子育てセンター ☎31-8006